

2017年8月25日

Cell Innovation Partners Limited

台湾・再生医療業界におけるフロントランナーで脊髄小脳変性症を対象とした細胞医薬品開発ベンチャーの Stement Biotherapeutics Inc.への出資を実行

Cell Innovation Partners Limited(以下、「CIP」)は Cell Innovation Partners, L.P.を通じ細胞医薬品の開発を行う Stement Biotherapeutics Inc.(以下、「当社」)(本社:台北、台湾、General Manager: Ryan Chang)へ約 62 百万台湾ドル(約 2.3 億円)の投資を行いました。

なお、当社は 2016 年 11 月に株式会社リプロセル(以下、「リプロセル」)と日本での共同開発および販売契約を締結しております。

当社が開発を行っている細胞医薬品 Stemchymal[®]は健康人ドナーの脂肪由来の幹細胞で、脊髄小脳変性症を対象とした細胞医薬品の開発では世界で最も先行しています。これまでの治験で安全性が確認し、また有効性を示唆するデータも観察されており、現在台湾で有効性の確認を目的とした Phase 2 の治験を行っています。

また、当社は台湾だけでなく米国、日本でも開発を進めています。米国では当社が 2018 年の Phase 2 開始に向けた準備を進めており、日本ではリプロセルが 2018 年の Phase 1/2a 開始に向けた準備を進めています。

脊髄小脳変性症は身体の運動機能を制御している小脳の神経細胞が減少し、歩行・嚥下・呼吸機能が低下する希少疾患で、国内患者数は約 3 万人とされています。脊髄小脳変性症は 36 以上の病型が存在しますが、最も患者数が多い病型は遺伝子異常により発症します。小脳の神経細胞の遺伝子異常のため神経細胞で異常タンパク質が作られ、異常タンパク質が神経細胞に蓄積することで神経細胞の細胞死が引き起こされ、小脳の神経細胞が減少することで発症すると考えられています。30~40 代で発症するケースが多く、10~20 年かけて症状悪化が進行し、最終的に死亡する重篤な疾患です。現在有効な治療法がないため、日本では厚生労働省から特定疾患(いわゆる難病)に指定されています。Stemchymal[®]の脊髄小脳変性症を対象とした台湾での Phase 1/2a の結果は Cell Transplantation 誌に掲載され、数人の患者で症状悪化を抑制する傾向が認められたと報告されています。

また Stemchymal[®]は脊髄小脳変性症以外にも様々な疾患で効果が期待されており、当社は急性肝不全、変形性膝関節症、糖尿病を対象とした Stemchymal[®]の開発も行っています。

CIP はリプロセルによる日本での治験開発を通じ Stement の成長を支援するとともに、引き続き再生医療ベンチャーへの資金供給を通じ再生医療の実用化に貢献して参ります。

Stement Biotherapeutics Inc.の概要:

設立: 2007 年
事業内容: 他家・細胞医薬品 Stemchymal[®]の開発
本社所在地: 台北、台湾
General Manager: Ryan Chang
URL: <http://www.stement.com>

Stement 社の脊髄小脳変性症を対象とした Phase 2 治験計画概要:

URL: <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT02540655>

問い合わせ先:

Cell Innovation Partners Limited 担当 西村 和将
メール: contact@cell-ip.com
URL: <http://www.cell-ip.com/>